

医療・福祉分野の事業継続

大阪
会場

～ 災害に強い医療福祉体制を作る ～

入場無料

災害医療体制の遷移と今後の展望 ～災害時医療体制と地域連携のための取り組み～

2018年1月19日(金) 13:30～16:30 (13:00受付開始)

グランキューブ大阪(大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51)

東日本大震災や熊本地震を経験して、「事業継続」の取組の必要性がクローズアップされています。「事業継続」は個々の事業者にとってはもちろん、社会全体にとっても、そのレジリエンスを高める上で非常に大きな役割を果たします。特に、医療・福祉施設等においては、災害時に期待される社会的役割ゆえに、地域連携を踏まえた「事業継続」への取組の重要性が高まっております。

そこで、内閣官房国土強靱化推進室では、医療・福祉施設等を対象としたシンポジウムを開催し、有識者による講演や登壇者によるディスカッションを通じて、「事業継続」の重要性、課題の共有を図るとともに、今後の普及促進に繋げていきたいと考えています。

※ 本シンポジウムは、全国6か所での開催を予定しています。

詳細は[<http://www.resilience-jp.org/certification/seminar/>]をご参照ください。

プログラム

開会の挨拶
[13:30-13:35]

内閣官房国土強靱化推進室

基調講演1
[13:35-14:10]

「大都市における大規模災害に向けての課題」

溝端 康光氏 (大阪市立大学医学部附属病院 救命救急センター センター長)

基調講演2
[14:10-14:45]

「大地震の経験は現在に活かされているか」

高松 純平氏 (関西ろうさい病院 救急部 部長)

基調講演3
[14:45-15:20]

「南海トラフ地震への備え-災害医療における他機関連携の重要性-」

中 大輔氏 (日本赤十字社 和歌山医療センター 医療社会事業部 部長)

休憩 [15:20-15:35]

講演
[15:35-15:50]

「国土強靱化の取組と国土強靱化貢献団体の認証制度について」

内閣官房国土強靱化推進室

パネルディスカッション
[15:50-16:30]

「近畿地域におけるレジリエンス強化」

<パネラー> 近畿地域会場講演者

(進行:株式会社インターリスク総研 事業継続マネジメントグループ テクニカルアドバイザー 紙谷あゆ美)

お申込みはこちら>>[<https://fs223.formasp.jp/f654/form6/>]